

殺虫剤

協友

パーマチオン®水和剤

フェンバレレート…………… 10.0%
MEP …………… 30.0%

種類名／フェンバレレート・MEP水和剤
農林水産省登録／第21927号
毒性／劇物
有効年限／3年
包装／500g×20

特 長

- シンクイムシやハマキムシ、キンモンホソガに対して速効的な殺虫効果を発揮します。
- 果樹害虫に対し、幼齡から老齡までステージに関係なく高い効果を発揮します。
- だいのすの子実害虫に対し、高い効果を発揮します。
- 低温時にも優れた効果があります。
- 特異な忌避作用で害虫の食害や飛来を 방지、収穫物をきれいに仕上げます。

適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
りんご	キンモンホソガ シンクイムシ類 アブラムシ類 ハマキムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫45日前 まで	本剤 3回 フェンバレレート剤 3回 MEP剤 3回	散布
	モモチョッキリゾウムシ モンクロシヤチホコ	1000倍				
なし	カメムシ類 アブラムシ類 ニセナシサビダニ シンクイムシ類	1000～ 2000倍		収穫30日前 まで	本剤 5回 フェンバレレート剤 5回 MEP剤 6回	
	ハマキムシ類 ナシグンバイ ナシホソガ ナシチビガ	1000倍				
かき	カキノヘタムシガ アザミウマ類 ハマキムシ類 カメムシ類	1000～ 2000倍		収穫7日前 まで	本剤 3回 フェンバレレート剤 3回 MEP剤 3回 【樹幹処理は2回】	
	イラガ類 ミノガ類	1000倍				
	コガネムシ類	2000倍				
もも	シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類	1000倍		裂果前 但し、 収穫14日前 まで	本剤 6回 フェンバレレート剤 6回 MEP剤 6回 【樹幹処理は1回】	
くり	クイガアブラムシ クリシギゾウムシ					
だいのす	マメヒメサヤムシガ ダイズサヤタマバエ	1000～ 2000倍		100～ 300ℓ	収穫21日前 まで	
	シロイチモジマダラメイガ マメシンクイガ ハスモンヨトウ カメムシ類					

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
かんしょ	イモコガ	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 5回 フェンバレレート剤 5回 MEP剤 5回	散布
とうもろこし	アワノメイガ アブラムシ類 ツマジロクサヨトウ カメムシ類				本剤 4回 フェンバレレート剤 4回 MEP剤 4回	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので散布液がかからないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■混用・薬害

- アルカリ性の強い農薬との混用はさけてください。ただし、ボルドー液との混用の際は使用直前に混合してください。
- あぶらな科作物には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して散布してください。
- りんごの旭種およびその近縁種には、他の有機リン剤と同様に薬害の出ることがあるので注意してください。
- ももの初期散布（5～6月）には薬害の出ることがあるので注意してください。
- なしの早生赤種およびその近縁種には薬害の出ることがあるので使用はさけてください。
- なしの新葉展開期（4～5月）に使用すると、展開葉に黄化などの薬害を生じることがあるのでこの時期の散布はさけてください。

■毒

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- フェンバレレートによる中毒に対しては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。MEPの解毒剤としては硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤が有効であると報告されています。

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意してください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は、顔、手足などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 摘果等の作業の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。



■貯蔵上の注意



- 密封し、直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。